



明けましておめでとうございます！
平成27年の新春をご家族お揃いでお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げます

平成27年は相続税等の大改正が行なわれます。
どのようなことでもご相談下さい。

わかき事務所も開設して2年目をむかえます。色々なご相談において頂く方が増えています。今年もスタッフ一同、お客様一人一人のご相談に的確にお答えできるよう努力に努力を重ねます。

今年も宜しくお願い致します。



税理士 竹長 徹

副所長

たなべしげお

田邊繁雄の ~税務の豆知識~

知っておきたい確定申告情報

年が明けました！来月2月には、いよいよ平成26年分所得税等の確定申告がはじまります。

昨年もこの時期にご紹介しましたが、個人の方が金地金等を売却して、年間利益が50万円を超える場合は、確定申告で所得税を納めなければならない場合があります。 金価格は2005年以降値上りし、2014年も@4,000円/gを割り込むことなく高値を維持していますので、売却利益が発生している方は確定申告をお忘れなく！

もう1つ気を付けておきたいことがあります。

平成23年分以降、公的年金等の収入金額の合計金額が400万円以下で、かつ、公的年金に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合は、所得税の確定申告が不要となっています（以下「申告不要制度」といいます）。今までは、例えば、子が母を控除対象扶養親族として給与所得の年末調整で扶養控除を受け、子の父が妻（子の母と同一人物）を控除対象配偶者として公的年金の源泉徴収税額の計算上配偶者控除を重複して受けていても、父が「申告不要制度」に該当するために、上記年末調整及び源泉徴収においては同一人物の重複した所得控除は結果的に認められていました。

しかし、平成26年分の所得税の改正で、この重複控除が認められなくなりましたので、上記ケースの場合で子の父が妻と生計を一にしていれば、子は母を扶養親族から外す手続きを、原則、年末調整で行う必要がありますのでご注意ください。

痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



社員のひとこと日記



新年、明けましておめでとうございます。 昨年末は立て続けに押し寄せた寒波で、日本全国大変な12月でした。今年は程々であって欲しいですね。

お正月。新しい年が始まる行事。歳神様(トカミヤ)が夫々の家庭に降臨するとされる日、との事。豊穰の神様。健康、幸福をもたらしてくれるとされています。門松、しめ飾りは歳神様が訪れる為の目印。鏡餅は、歳神様へのお供え、依代。 煤払い、大掃除は歳神様をお迎えする為にするもの。元日の掃除は福を掃出してしまう為、するべきでは無いとされている。 お年玉。もとは「お年魂」。餅のこと。歳神様の依代とした魂の宿った鏡餅を皆で食べ分ける事で新しい生命力を得る儀式。



何気に迎えているお正月ですが、色々な意味、由来がある様ですね。 因みに、元日は1月1日のこと。元旦はその朝のみをさします。元旦の朝。とか、言ってしまいそうですよね。 何はともあれ、今年1年皆様に幸多き年でありますように。

荒川

365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【一行三昧】

新年にあたり今年目標を立てた方も多いでしょう。ぜひともその目標を達成するために、「一行三昧(いちぎょうさんまい)」の気持ちで取り組んでいきたいものですね。「これ」と決めたら心をひとつにして邁進することを「一行三昧」といいます。そこで、一行三昧がどのようなことかを物語る興味深い逸話をご紹介します。

古代中国・漢の李將軍は勇猛な武人で知られた人物であり、特に弓術では天下無敵と称えられていました。ある日、獵に出かけた將軍は一匹の大きな虎に出会います。大虎は將軍から遠く離れた場所にうずくまっていた。將軍はすぐさま矢を構え力の限り弦を引き、虎に向かって放ちました。矢は見事に獲物をとらえ虎の体に矢が立ちました。「これはしめた!」と將軍は勢い込んで虎のそばへ走り寄りますが、虎だと思っていたのは実は虎の形をした大きな岩だったのです。岩に矢が立つなど古今東西聞いたこともない。將軍は得意になり、もう一度やって見せようとばかりに再び矢を射りますが、何度やっても二度と岩に矢が立つことはありませんでした。



最初に「虎だ」と思ったときは、虎を射止めようとする一念以外、ほかには何もなかった將軍は、まさに「一行三昧」だったのです。ところが、岩に矢が立つた後では、「俺の弓術はさすがだろう。どうだ見ておれ」という雑念が邪魔をして、一行三昧になりきれなかったのです。

茶人の千利休は茶の湯の極意を、「火をおこし、湯を沸かし、茶を喫(きつ)するまでのことなり、他事ある可(べ)からず」と述べたそうです。様々な作法や決まり事がある茶の湯の世界にあって、なおそのことにしばられず淡々と茶をたしなむ。まさに一行三昧の極みです。言うは易く行うは難しではありますが、素直な心で日常生活に向き合うことも一行三昧だそうです。時に弱い心に負けてしまったとしても、何度でも奮起して前を向き専心していきましょう!